

平成 17 年度第 2 回 研究開発型ベンチャー技術開発助成事業 採択課題一覧
(ベンチャー／単独型)

	事業者名 開発期間	開始 期間	事業名	事業概要
1	有限会社ビ ー・アイ・テッ ク	H17.11 ～ H19.3	全世代対応・オ ーダーメイド型 複合材人工股 関節の実用化	従来の人工股関節は 50 歳から 70 歳代という特定の世代に限定して適用されてきた。航空機用複合材料技術を活用し、高い信頼性と強度を有する PEEK 樹脂強化炭素繊維複合材料を用いて、その外形を個々の患者の大腿骨形状に合致させるとともに、骨との接触荷重が分散するように剛性設計したステムをローコストで製造する。このことにより、20 歳台の若年患者から骨粗鬆症患者におよぶ全世代に適用可能な、オーダーメイド人工股関節を実用化する。
2	株式会社セキ ュアウェア	H17.11 ～ H19.3	隔壁構造を構築 するための透過 的小型セキュリ ティデバイスの 開発	LAN 内部のセキュリティ対策に焦点をおき、外からの脅威に対して LAN を防御し被害の拡大を抑えるだけでなく、L2-L7 すべてのレベルにおいて内からの重要情報の漏洩を監視・コントロールする「LAN の隔壁構造」を簡単に構築するための新機軸製品、「双方向的でかつ透過的なコンパクト・ネットセキュリティシステム(セキュアブリッジ、セキュリティコントローラ、およびストリームミラー)」の開発を行う。
3	セルジェンテ ック株式会社	H17.11 ～ H19.3	脂肪細胞を用い た新規遺伝子 治療法の開発	本事業の最終目標は、遺伝子欠損等患者の前駆脂肪細胞を in vitro 増殖させ、レトロウイルスベクターによる遺伝子導入脂肪細胞を患者に自家移植し、病態改善を図る新しい遺伝子治療法を開発することにある。今回は、動物試験から臨床試験へのトランスレーショナルリサーチ事業領域を中心に助成申請を行うものとする。より詳細には、マウスおよびヒト脂肪細胞の GMP レベルでの調整法、レトロウイルスベクター産生細胞のマスターセルバンク作製から GMP レベルでのベクターの作製、さらに臨床に向けた前臨床試験事業を行うものとする。
4	株式会社光 子発生技術 研究所	H17.11 ～ H19.3	卓上型シンクロ トロンを用いた 高精度非破壊 検査装置の開 発	立命館大学の山田教授と共同で直径 60 センチのシンクロトロンを用いて大型放射光と並ぶ強度の X 線発生装置の開発に成功した。この度放射線障害防止法及び関係政省令等の改正により 4MeV まで移動使用の規制の合理化がなされたことにより、この装置の更なる小型化と低コスト化を目指した実用化開発を行い、橋梁等の非破壊検査やテロ対策に用いることで社会に貢献することを目指している。

5	株式会社ゼリアエコテック	H17.11 ～ H19.3	圧力変動ポンプと吸着剤を一体化した新規小型酸素濃縮器の開発	圧力変動ポンプと吸着剤を一体化した新方式の低電力小型酸素濃縮器を開発・実用化する。さらに、発熱と稼働音の面で冷却と防音装置を必要としないレベルまで改善して製品をコンパクト化とコストダウンを図り、在宅医療の現場で常時使用する患者の利便性を改善する。汎用器を開発し、医療以外の分野で市場の広がる酸素濃縮器の需要に対応する新規小型酸素濃縮器を開発実用化する。
6	ユーフォニック・テクノロジー株式会社	H17.11 ～ H19.3	ユビキタス・コンピューティングに向けた高機能表示コントローラLSIの開発	あらゆる場所にインテリジェントな機能が埋め込まれていくユビキタス・コンピューティング社会においては、用途や場所に応じて多様なグラフィカル・インターフェースを実現することが強く求められています。本提案事業では、従来のPC向けのLSI等を適用することが困難な組み込みシステム機器に向けて、低電力でかつ柔軟な表示制御機能を有する表示コントローラLSIを提供し、新たなマーケットを開拓することを提案します。
7	フジセラテック株式会社	H17.11 ～ H19.3	冷凍車用高効率発電機の開発	回転速度が変動する自動車用発電機の効率を向上する為、永久磁石を組込んだ回転子と巻線ステーターの間に空隙を増減させる磁束制御装置を置き、更に巻線数を切り替える装置と、僅かな電流で弱め磁界を作る磁束制御用巻線を巻き込み、磁束制御の回転範囲を大幅に増加させる。この構造により、発電効率 90%以上、大きさが従来製品比 70%、高出力で回転数が 15,000rpm以上まで一定電圧を保持できる発電機を実現する。
8	株式会社 エフ・ティ・エスコポーレーション	H17.11 ～ H19.3	新対向ターゲット式スパッタによる透明断熱フィルムの実用化開発	新対向ターゲット式スパッタの量産・実用化開発により。市販製品と比較して熱線遮蔽性能を 30%以上改善した新規な透明断熱フィルムを糊加工及び窓ガラス加工メーカーと連携して実用化開発することにより、窓ガラス断熱用省エネルギー新製品の市場を創生する。
9	株式会社アールテック	H17.11 ～ H19.3	金型NC加工のモニタリングと自動最適化システムの実用化開発	携帯電話や自動車用金型加工ではΦ0.1mmの微細径から数10mmのエンドミル工具を用いたNC加工が行われる。本事業では、このNC加工の切削状況を逐次モニタリングするとともに、シミュレーションにて自動的に加工条件の最適化を図り、加工負荷の均一化、工具寿命の延長、加工時間の短縮、加工トラブルの事前回避および加工モニタリングによる作業トラブルや工具磨耗の早期発見を可能とするシステムの実用化を実現する。